

記載例

※記載例によらず記載内容を指導する場合があります。

様式第二

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

<p>宅地造成及び特定盛土等規制法 {第12条第1項} の規定により、許可を申請します。</p> <p>●年●月●日</p> <p>栃木県知事様</p> <p>申請者 氏名 (株) ●●●● (申請者=工事主) 代表取締役 ●●●●</p>		<p>※手数料欄</p> <p>栃木県収入証紙※を貼付。</p> <p>電子納付による場合は、申込内容照会画面の写しを添付</p> <p>※印紙ではないため注意</p>
1 工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	<p>住所: ●●県●●市●●町●●番地 ⇒ 主たる事務所の所在地 氏名: (株) ●●●● 代表取締役 ●● (代表取締役住所: ●●県●●市●●町●●番地) ⇒ 代表取締役のみ記載</p>	
2 設計者住所氏名	<p>住所: ●●県●●市●●町●●番地 氏名: (株) ●●●● ●●●● ○ ⇒ 資格が必要な設計の場合は氏名の横に○ ※資格要件: 高さ 5m 超の擁壁、盛土又は切土をする土地の面積が 1,500 m²超で排水施設を設置する場合</p>	
3 工事施行者住所氏名	<p>住所: ●●県●●市●●町●●番地 ⇒ 主たる事務所の所在地 氏名: (株) ●●●● 代表取締役 ●●</p>	
4 土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	<p>●●県●●市●●町●●番 (緯度: ●度●分●.●秒、 経度: ●度●分●.●秒) ⇒ 小数点以下第一位まで記入</p>	
5 土地の面積	<p>●●平方メートル ⇒ 土地の求積図と整合</p>	
6 工事着手前の土地利用状況	<p>原野 ⇒ 登記簿</p>	
7 工事完了後の土地利用	<p>宅地 (住宅建築) ⇒ 登記予定の地目 + 建築物の有無</p>	
8 盛土のタイプ	<p>平地盛土 • 腹付け盛土 • 谷埋め盛土</p> <p>平地盛土: 勾配 1/10 以下の平坦地において行われる盛土で 谷埋め盛土に該当しない盛土</p> <p>腹付け盛土: 勾配 1/10 超の傾斜地盤上において行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土</p> <p>谷埋め盛土: 谷や沢を埋め立てて行う盛土</p>	
9 土地の地形	<p>溪流等への該当 有・無</p> <p>有無の判断に当たっては、計画地の現地調査等による。 ※県 HP で溪流等の範囲を示した図面を参考に調査</p>	
10 イ 盛土又は切土の高さ	<p>●●メートル</p>	

記載例

※記載例によらず記載内容を指導する場合があります。

ロ 盛土又は切土をする土地の面積	●●平方メートル			
ハ 盛土又は切土の土量	盛 土	●●立方メートル		
	切 土	●●立方メートル		
二 擁 壁	番 号	構 造	高 さ	延 長
	1-1	ブロック積	●メートル	●メートル
	1-2	練積	●メートル	●メートル
ホ 崖面崩壊防止施設	番 号	種 類	高 さ	延 長
	該当なし	⇒空欄になる箇所は「該当なし」と記載 ⇒記載しきれない場合は別紙も可		
ヘ 排 水 施 設	番 号	種 類	内法寸法	延 長
	2-1	開渠排水	●センチ メートル	●メートル
	2-2	暗渠排水	●センチ メートル	●メートル
	2-3	浸透層	-	-
ト 崖面の保護の方法	法枠工 等			
チ 崖面以外の地表面の保護の方法	のり面とは反対方向に排水勾配を設定、植栽工 等			
リ 工事中の危害防止のための措置	立ち入り防止措置、工事中の排水のため土側溝設置、ガードマンによる交通整理 等			
ヌ その他の措置	軟弱地盤対策 等			
ル 工事着手予定年月日	●年●月●日 ⇒「許可日、許可日の翌日」等の記載でも可			
ヲ 工事完了予定年月日	●年●月●日 ⇒工程表と整合			
ワ 工程の概要	工事工程表のとおり ⇒書類で提出			
11 その他必要な事項	関係法令等協議先一覧のとおり ⇒書類で提出 ※提出用の関係法令等協議先一覧は県HPでDLできます。			
※受付欄	※決裁欄	※許可に当たつて付した条件	※許可番号欄	
年 月 日			年 月 日	
第 号			第 号	
係員氏名			係員氏名	

記載例

※記載例によらず記載内容を指導する場合があります。

[注意]

- 1 ※印のある欄は記入しないでください。
- 2 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- 3 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。
- 4 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。
- 5 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出してください。
- 6 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従つて測量し、小数点以下第一位まで記入してください。
- 7 8欄は、該当する盛土のタイプに○印を付してください（複数選択可）。
- 8 9欄は、溪流等（令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに○印を付してください。
- 9 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。